

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)12月19日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25024
発 信 者 名:寺園、新谷、北条他

気候変動に負けない水稲栽培技術研修会を開催しました！

12月11日、管内の水稲生産者を対象に、東近江地域農業センターと連携し、気候変動に負けない水稲栽培技術研修会を開催しました。生産者143名と関係機関を含め186名の参加があり、高温対策の栽培技術について理解の向上を図りました。

近年、気候変動による農作物被害が増加しており、特に夏季の高温による水稲栽培への影響は深刻なものとなっています。そこで、気候変動に適切に対応できるよう、水稲の高温対策を中心とした技術研修会を開催しました。

研修会では、当課から令和7年産水稲の概況、JA 全農しがから米の検査結果について説明した後、農研機構から、気候変動に適応した水稲栽培技術について説明していただきました。その中では、背白粒・基白粒の発生を軽減するための出穂期頃の追肥(耐暑肥)や、登熟期における水管理の重要性について、分かりやすく説明され、理解の浸透を図ることができました。

研修会に参加された生産者は、集中して説明を聴かれており、高温対策の栽培技術について積極的に知識の習得に努めている様子が見られました。

東近江地域の令和7年産水稲の1等米比率は、過去最低の水準となっています。当課では、気候変動に適応した水稲栽培による収量・品質の確保を目指し、引き続き、高温対策技術の普及活動を行っていきます。



研修会の様子